

# ACOUSTIC FLOOR BLOCKS

## 製品データシート

### 製品の特徴

材質	混合セルPUエラストマー（ポリウレタン）
色	赤、グレー、ターコイズ、または紫
寸法	50×50×50mm
主な用途	レコーディングスタジオ、ライブ会場、映画館、クラブ、バー、ジム、MEPルーム、実験室
認証	VOC A+



### 軽量床衝撃音の低減量 46 dB

EN ISO 717-2 に準拠

### 製品タイプ

	AFB 30	AFB 60	AFB 110	AFB 160
Sylomer®	SR 220	SR 450	SR 850	SR 1200
ブロックあたりの最大積載量	30 kg	60 kg	110 kg	160 kg

### 材料特性

	試験方法	注釈
防火特性	クラスE EN ISO 11925-2	EN 13501-1 に基づく分類
使用温度	-30°C ~ 70°C	短時間であれば、これより高い温度にも対応可能

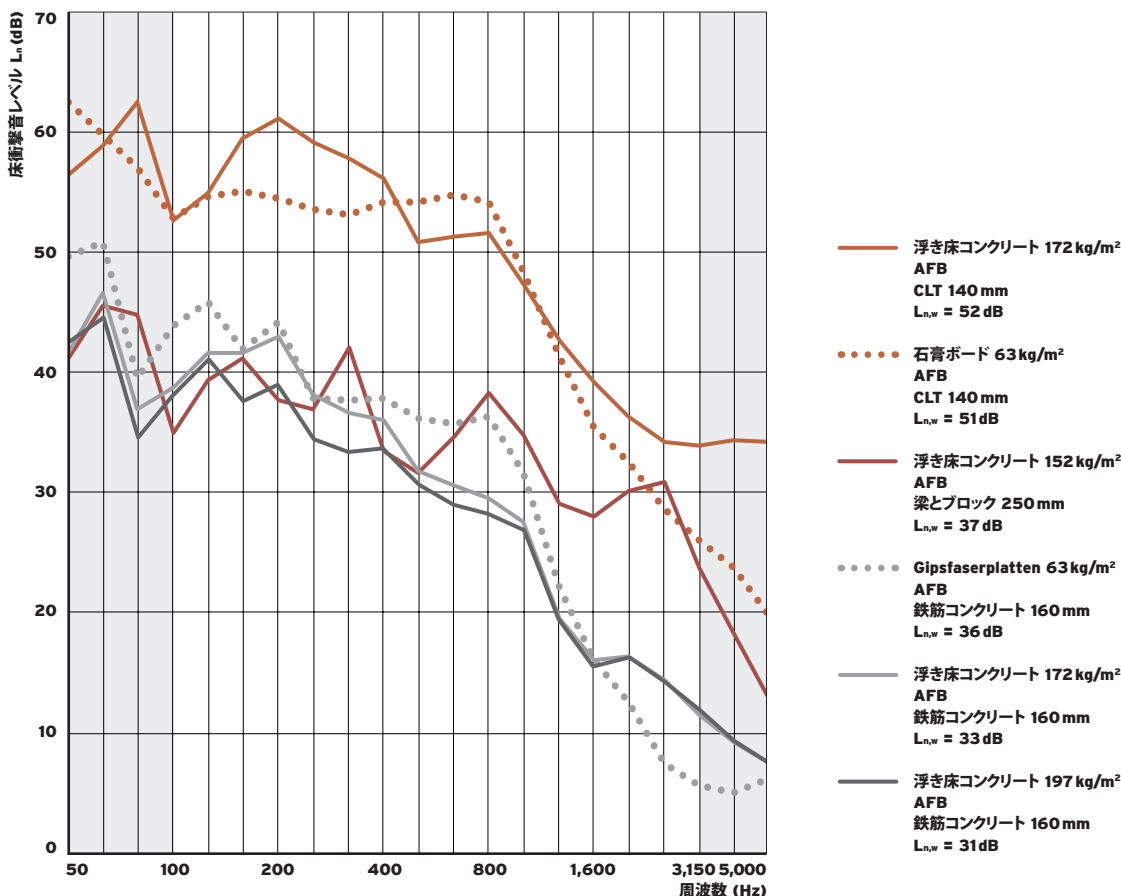
### 測定に基づく音響性能

躯体スラブ	浮き床荷重	音響性能*
鉄筋コンクリート 160mm	浮き床コンクリート 172 kg/m <sup>2</sup>	$\Delta L_w$ 46 dB $R_w$ 75 dB
	浮き床コンクリート 197 kg/m <sup>2</sup>	$\Delta L_w$ 48 dB $R_w$ 75 dB
梁・ブロック 250mm	石膏ボード 63 kg/m <sup>2</sup>	$\Delta L_w$ 43 dB $R_w$ 74 dB
	浮き床コンクリート 152 kg/m <sup>2</sup>	$\Delta L_w$ 46 dB $R_w$ 59 dB
CLT 140mm	浮き床コンクリート 172 kg/m <sup>2</sup>	$L_{n,w}$ 52 dB $R_w$ 65 dB
	石膏ボード 63 kg/m <sup>2</sup>	$L_{n,w}$ 51 dB $R_w$ 65 dB

\* 音響性能は、吊り天井なしの状態で行われた第三者機関による試験結果に基づいています。空気伝播音については EN ISO 10140-2、軽量床衝撃音については EN ISO 10140-3 に準拠して試験を実施しています。空気伝播音については EN ISO 717-1、軽量床衝撃音については EN ISO 717-2 に基づく評価値です。実験室での結果は、現場の条件を反映していない場合があります。ご要望に応じて試験報告書をご提供いたします。

## 軽量床衝撃音レベルの周波数特性

タッピングマシンによる加振



### 製品の利点

- 高品質な Sylomer® ポリウレタン製
- 極めて高い音響性能、低周波数域で効果的
- クリープが少なく、長期にわたる優れた材料挙動、数十年にわたる実証済みの耐久性
- 間隔や耐荷重を調整することで、様々な荷重条件に対応可能

### 推奨事項

- AFB は、予想される準恒久的な荷重の組み合わせに応じて慎重に設計する必要があります。
- 推奨されるデフォルトの c/c 間隔は、500 × 500 mm (4.0パッド/m<sup>2</sup>) または 600 × 600 mm (2.8パッド/m<sup>2</sup>) です。
- ブロック間の隙間には、厚さ40 mm以下 (密度30 kg/m<sup>3</sup>以下) の低密度グラスウールを使用することを推奨します。
- 浮き床コンクリートを打設する前に、厚さ18 mm以上の仮設枠を使用することを推奨します。
- より簡単かつ迅速な設置のために、金属製チャンネル (ドライライニング用プロファイル) を使用することができます

### 標準仕様

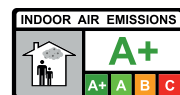
梱包 245 個

### 時間を節約!

FloorCalc を使って、ほんの数秒で床の性能を計算しましょう:



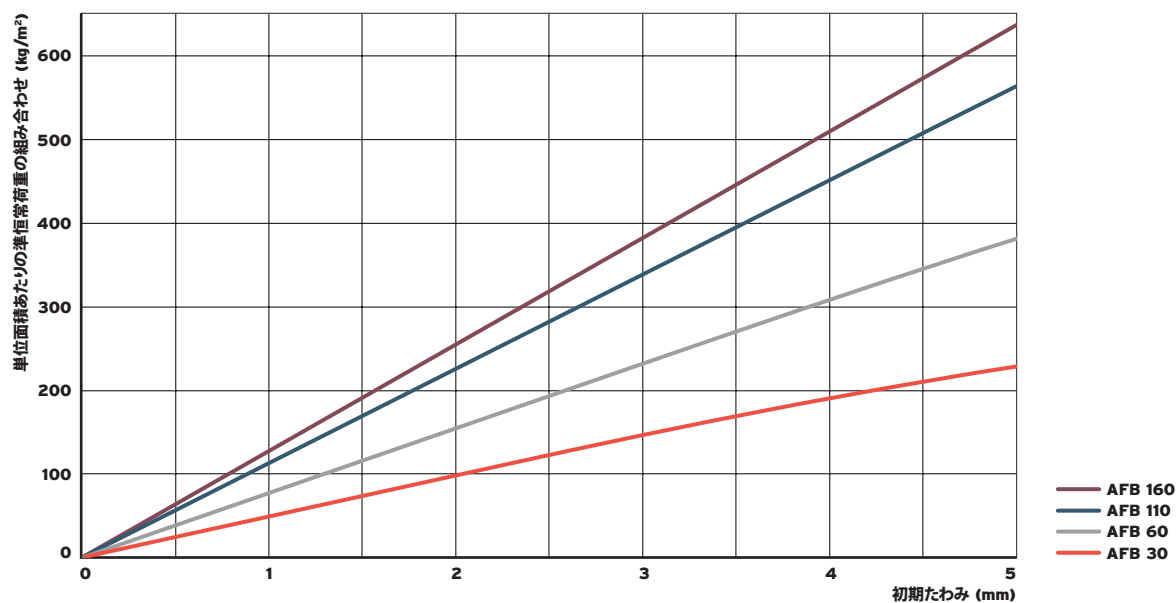
getzner.com/  
FloorCalc



すべての情報およびデータは、当社の現在の知見に基づいています。これらは計算や参照目的で使用できますが、一般的な製造公差の対象となり、保証された特性を表すものではありません。本書の内容は予告なく変更される場合があります。



**荷重たわみ** (間隔 c/c 500 × 500 mm)



**固有振動数** (中心間距離 c/c 500 × 500 mm)

